

大阪を便利にする直通運転

1. 御堂筋線—北大阪急行

(1)直通運転区間

御堂筋線(なかもず～江坂間) 北大阪急行(江坂～千里中央間)

御堂筋線、北大阪急行の全線で相互直通運転を行っています。



御堂筋線及び、北大阪急行の路線図

Wikipedia 大阪市営地下鉄御堂筋線(ja.wikipedia.org/wiki/大阪市営地下鉄御堂筋線)より引用

①御堂筋線

路線距離 24.5km 駅数 20 駅

この路線は、堺市にある、なかもずを出たあと、団地の多くある、新金岡に着き、その後、大阪市内屈指の繁華街の一つ、天王寺に着きます。その後、道頓堀に近いなんばに着き、その後、百貨店中心に多くの商業施設のある梅田に到着し、新幹線の駅のある新大阪に到着し、その後江坂に到着します。また、御堂筋線は大阪の中心街を走っているため、乗り換えのできる駅が非常に多く、大阪人の足になっているといえるでしょう。しかしその一方混雑がひどく、特にラッシュ時には、天王寺～梅田間を中心に大混雑しており、その混雑緩和のため、大国町から先は、四つ橋線と並行するように走っていますが、四つ橋線の駅は御堂筋線の駅から遠いものが多く、混雑緩和は実現できていません。また、天王寺～新大阪間の列車を半分入れることで混雑区間の本数増加につなげており、混雑を和らげていますが、逆にその区間以外は本数が少なく少々不便です。

②北大阪急行

路線距離 5.9km 駅数 4 駅

江坂を出た後、二駅はさんで、千里中央に到着します。千里ニュータウンなどの住宅街からの利用者を、梅田などの繁華街に運んでいます。

(2)歴史

- 1925 高速鉄道計画ができる
- 1933 御堂筋線梅田～心斎橋間が開業 これは、日本初の公営地下鉄
- 1935 御堂筋線心斎橋～難波間が開業
- 1938 御堂筋線難波～天王寺間が開業
- 1951 御堂筋線天王寺～昭和町間が開業
- 1952 御堂筋線昭和町～西田辺間が開業
- 1960 御堂筋線西田辺～我孫子間が開業
- 1964 御堂筋線新大阪～天王寺間が開業
- 1970 御堂筋線新大阪～江坂間が開業
- 北大阪急行江坂～万国博中央口間(南北線、会場線)が開業 日本万国博覧会への会場アクセスのためにつくられた
- 御堂筋線北大阪急行直通運転開始
- 北大阪急行会場線廃線 南北線千里中央駅開業
- 1975 北大阪急行緑地公園駅開業
- 1987 御堂筋線我孫子～なかもず間が開業

(3)直通運転に使用されている車両

①大阪市営地下鉄保有車両



左 10 系 右 10A 系



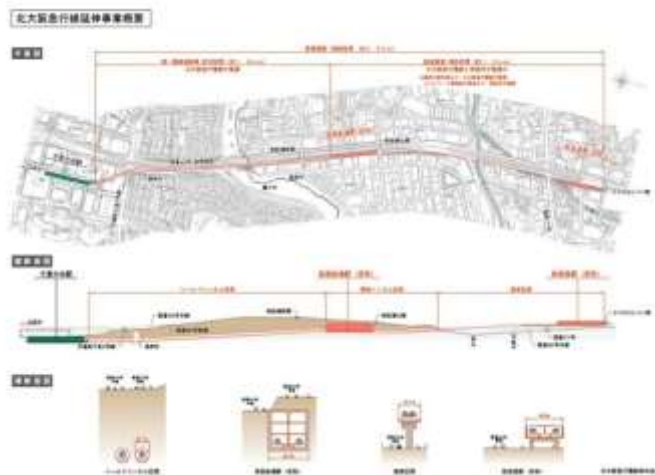
左新 20 系(21 系) 右 30000 系(31 系)

②北大阪急行保有車両



左 8000 系 右 9000 系

(4)延伸



北大阪急行線延伸事業について一北大阪急行電鉄(www.kita-kyu.co.jp/extension/outline.html)より引用

北大阪急行は、千里中央～新箕面(仮)約 2.5 kmの延伸を、2020 年に予定しています。事業費は、650 億円です。

新駅は、箕面船場駅(仮)、新箕面駅(仮)の 2 駅です。

箕面船場駅の周辺には、安く買える問屋が多く連なっていて、新箕面駅の周辺には、箕面キューズモールがあります。

この延伸により、延伸区間の活性化も見込まれていますが、この建設について、日本共産党を中心に反対した、という過去もあります。

2. 阪急電鉄—堺筋線



(1)直通運転区間

堺筋線(天神橋筋六丁目～天下茶屋間)

阪急千里線(天神橋筋六丁目～北千里間) 京都線(淡路～河原町間)

①堺筋線

路線距離 8.5km(営業 8.1km) 駅数 10 駅

この路線は、天下茶屋を出た後、新世界のある恵美須町につき、そして、電気街のある、日本橋につき、その後、天神橋筋六丁目につきます。この路線は、全駅で乗り換えをすることができ、非常に便利な路線です。また、阪急線に直通する列車が、非常に多いことでも知られています。

②千里線

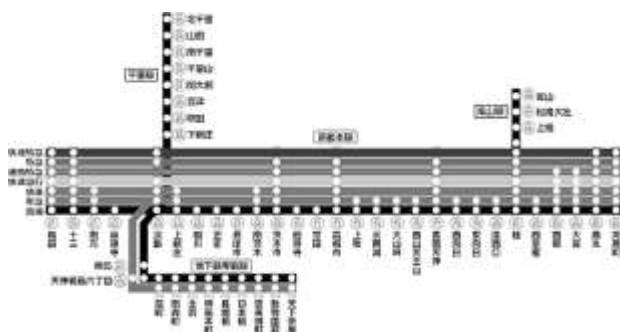
路線距離 13.6km 駅数 11 駅

この路線は、北千里を出た後、関西大学のある関大前を通り、淡路駅に到着し、その後、天神橋筋六丁目に到着します。ただ、天神橋筋六丁目で折り返す列車はほとんどありません。淡路駅で半分ほどの列車は梅田へ向かいます。大阪万博開催の時には、臨時駅まで登場し、大いに活躍しました。

③京都線

路線距離 45.3km 駅数 27 駅

この路線は、梅田を出た後、神戸、宝塚方面に行ける十三につき、その後千里線に乗り換えられる淡路に着きます。その後嵐山線に乗り換えられる桂につき、しばらくすると、河原町駅に到着します。なお、堺筋線からの直通列車の多くは、高槻市で折り返しています。



阪急線及び堺筋線路線図

阪急電鉄 停車駅のご案内 (www.hankyu.co.jp/station/rosen.html)より引用

(2)歴史

- 1921 阪急の前身の一つの北大阪電気鉄道が開業 十三～豊津間及び豊津～千里山間開業
- 1923 新京阪鉄道が北大阪電気鉄道の事業を引き継ぐ
- 1925 天神橋～淡路間開業
- 1928 淡路～京都西院間開業
- 1943 阪神急行電鉄と、親会社の京阪電気鉄道が合併
- 1949 京阪電気鉄道が分離するが、旧新京阪鉄道の路線は、阪急所有となる
- 1963 御堂筋線の混雑緩和を目的として、堺筋線の建設が初めて提言される
大宮～河原町間開業
- 1969 堺筋線の、天神橋筋六丁目～動物園前間開業
阪急千里線、阪急京都線と、堺筋線が直通運転開始
- 1979 河原町～動物園前間で堺筋急行の運転開始
- 1993 堺筋線の、動物園前～天下茶屋間開業

(3)直通運転に使用されている車両

①大阪市営地下鉄保有の車両



堺筋線 66 系

②阪急電鉄保有の車両

阪急 3300 系→





左阪急 5300 系 右阪急 7300 系



左阪急 8300 系 右阪急 1300 系

3. 近畿日本鉄道—中央線



(1)直通運転区間

中央線(コスモスクエア～長田間)

近鉄けいはんな線(長田～学研奈良登美ヶ丘間)

①中央線

路線距離 17.9km 駅数 14 駅

コスモスクエア駅を出ると、海遊館などのある、大阪港を通り、大阪の中心街の付

近を通った後、長田駅に到着します。ほとんどの列車が近鉄線に直通しています。
地下と高架が行ったり来たりすることがある複雑な構造の路線です。

②けいはんな線

営業距離 18.8km 駅数 8 駅

長田駅をでると、奈良方面に乗り換えることができ、古くから宝山寺への参道として発達してきた生駒に到着し、その後、学研奈良登美ヶ丘に到着します。

(2)歴史

1961 中央線大阪港～弁天町間開業

1964 中央線弁天町～本町間開業

1967 中央線谷町四丁目～森ノ宮間開業

1968 中央線森ノ宮～深江橋間開業

1969 中央線本町～谷町四丁目間開業

1985 中央線深江橋～長田間開業

1986 近鉄東大阪線(現：近鉄けいはんな線)長田～生駒間開業

中央線と近鉄東大阪線との相互直通運転開始

2005 コスモスクエア～大阪港間を中央線に編入

2006 近鉄けいはんな線生駒～学研奈良登美ヶ丘間開業

(3)直通運転に使用されている車両

①大阪市営地下鉄保有車両



左 20 系(右) 右新 20 系



②近鉄保有車両



左 7000 系 右 7020 系

4. まとめ

いかがでしたか？このように、大阪市内から郊外へでかけやすいように様々な直通運転がなされていて、気軽にさまざまなところに行くことができます。皆さんも直通運転について、興味をもたれたでしょうか？特に北大阪急行は、今年で 50 周年になりますし延伸も控えています。みなさんも、直通運転を利用すれば千里や、石切にも行くことができます。ぜひこれを機に、乗車されてはいかがでしょうか？

5. 参考文献

なにわの地下鉄 | 路線 | 御堂筋線

naniwa-subway.net/subway-line/1_midosuji/1_midosuji.html

なにわの地下鉄 | 路線 | 堺筋線

naniwa-subway.net/subway-line/6_sakaisuji/6_sakaisuji.html

なにわの地下鉄 | 路線 | 中央線

naniwa-subway.net/subway-line/4_chuo/4_chuo.html

北大阪急行線延伸事業について一北大阪急行電鉄

www.kita-kyu.co.jp/extension/outline.html

写真は特記がなければ筆者撮影